

## UNILLIタイヤ



## 国内テスト秘話

フェスティカサーキットで、2月冬場の凍りつくような寒さの中、テスト開始。  
このタイヤのターゲットは、レンタルカート・初心者・ホビーカーター想像。

KTエンジン搭載のSSクラス、32秒台

車両はMACMINARELLI+MiniMAX(KTエンジンSSクラスより通常1秒半落ち)、34秒中盤でのラップ。コースインした2コーナーでのグリップ感には驚きがありました。それはこの冬場だと通常のタイヤなら、コースイン直後のコーナーはフロント舵角を付けても曲がっていかずアンダーステアとの格闘になるのですが、このUNILLIタイヤでは少しアンダーステア、その次の瞬間グリップが回復して走行していきます。これは初心者やレンタルカートドライバーにはお勧めのタイヤでしょう。

また周回を重ねてのグリップレベルも満足行くものでした。

レンタルカート車両FK5にも装着、また4STでもテストを行い全く問題なく進行。  
そこで、新品タイヤ2種類と当コースで周回数800周を走破したタイヤの比較テストも行いました。  
800LAPのタイヤの摩耗は見た目にも減っていましたが、なんと新品タイヤのベストタイムから0.1秒とかわらないパフォーマンスに驚きました。

また数名のレース経験者と現役ドライバーにも協力いただきテストを繰り返し行いました。  
初期グリップの高さはすべてのドライバーが驚き、パフォーマンスそのものも賞賛

## コストパフォーマンス!! それ以上のグリップ&納得できる耐久性

### UNILLIタイヤ

タイヤサイズ / フロント 4.5×10.0-5      リア 6.0×11.0-5

推奨車両 / レンタルカート、4STエンジン、カデット車両、初心者、ホビードライバー

コストパフォーマンスはこのUNILLIタイヤの最大の特徴ですが、このUNILLIタイヤの特徴である初期グリップの高さは、国内タイヤメーカー(同レベルタイヤ)を凌ぐ性能があります。また、フェスティカサーキット1000LAPS以上走行してもベストタイムの差が0.1秒と変わらずラップできることは耐久性も十分納得できるパフォーマンスです。